

# 県民の暮らし、福祉守るためあらゆる手立てを！

## 日本共産党新潟県委員会が泉田知事に予算要望

日本共産党新潟県委員会は先月21日、泉田裕彦知事に会い、来年度予算要望を行いました。

これには樋渡士自夫県委員長（知事の隣）、竹島良子県議、ただ勝利、しづや明治、まちだ明広さんが参加しました。私にも参加要請がありました。当日は市議会月例議員懇談会、議員勉強会があったため、参加しませんでした。

た。

樋渡県委員長は、「県は『住民の福祉の増進を図る』という自治体本来の原点にたつて、県民のくらしと福祉、営業をまもるためにあらゆる手だてをつくしてほしい」と求め、重点要望として15項目をあげました。

### ヨウ素剤配布、30<sup>+</sup>圏に広げるのが望ましい

このうち、柏崎刈羽原発の問題では、「福島事故の検証が終わるまで再稼働議論はしない」という知事の立場を堅持することをはじめ、実効性ある避難計画やヨウ素剤の事前配布を広げることなどを求めました。知事は、「ヨウ素剤の配布は30<sup>+</sup>圏に広げることが望ましいが、原子力規制委員会が指針を出さないので対応しきれない。ぜひ国会でも質してほしい。願い実現に努力したい」と答えました。

### 知事、米価の県独自対策についても言及

米価下落については、「政府がコメの需要と供給に責任を持ち、過剰米の市場隔離をはじめ、需給調整を直ちにおこなうこと、直接支払交付金の半減措置を撤回し

て、農家の経営安定対策をはかる

ことを、国に求めている。県独自の「緊急対策を要望しました。知事は「地方で農家が生活できる仕組みが必要。どう困っているかやりとりして判断したい」と答えました。

### 県も「住宅リフォーム助成制度」創設を

このほか、重点として要望したのは、「公契約条例を制定し、公務・公共事業における中小業者の育成、官製ワーキングプアの掃、品質の確保に努めること」、「『住宅リフォーム助成制度』を県としても創設し、地域の中小建

## (仮称)厚生産業会館問題、住民投票を提案へ

日本共産党議員団は2日午前、議員団会議を行い、3月議会に向けての当面の活動について協議しました。議題はガス水道局所管の本支管工事入札談合疑惑解明の活動、(仮称)厚生産業会館建設に対する対応などが中心です。

この中で、弁護士との連絡調整の結果、談合疑惑に関しては9日の午後、市民有志とともに住民監査請求をすることを正式に決めました。これにより、疑惑解明の動きは一步前になることとなります。また、(仮称)厚生産業会館については、住民投票の提案に向けての準備作業に入ることを確認しました。日本共産党議員団が昨年実施した市民アンケート調査では、「いったん白紙に」すべきとの回答が67.6%にもなっていました。今回の提案は、(仮称)厚生産業会館建設の是非を改めて問うものとなります。



【香煎】「こうせん」と読みます。大島区の青空市場で購入しました。食べたのは久しぶり。薄甘く、なつかしい味でした。

設業者の仕事確保や地域経済の活性化をはかること」、「県立病院は、地域医療の中枢を担うとともに高度、特殊、専門、へき地医療など不採算分野の医療に責任を負い、県民に安心できる医療を提供するためにかせない役割を果たしている。既存の県立病院の縮小・廃止を行わないこと」、「子ども医療費助成制度は、『3人以上子どもを有する世帯』の条件をはずし、すべての子どもに対して、入院・通院とも中学卒業まで拡大すること。また、一部負担金をなくすこと」などです。これらは今後、議会などでも取り上げていく予定です。



**No.1695 2015.2.8**  
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見  
 てある記」は  
 ← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三四三回

## 幸来花

朝市にはドラマがあります。毎回のように印象に残る出来事、出会いがあるのです。先日の直江津の三八市のときもそうでした。花を売っていたひとりのお母さんが、「この花、持っていつてくれない」と言っで一鉢くださいました。それが始まりでした。

この花の草丈は五〇センチ前後、最先端に薄いオレンジ色のちようちんのような花をつけています。花屋さんからは「幸せを呼ぶ花だよ」と言われたのですが、花は「幸来花」（こうらいか）とも呼び、マダガスカル原産の多年草であることが後でわかりました。

朝市で一緒に宣伝した仲間のミキ子さんが、「橋爪さん、きょうはきつといいことがあるよ」と言ってくれたとき、私は笑って「そうだね」と軽く受け止めていたのですが、じつは、この日、幸せを感じる出来事が次から次へと起きていったのです。

ひとつだけ紹介しましょう。この日は県立吉川高等特別支援学校の三年生がハッピーカフェという「喫茶店」を開店する日でした。久しぶりに顔を出してこようと、私の事務所で出かける準備をしていたら、妻が「行くんなら、私も連れてって」と言います。それなら、母も連れて行ってあげようと思いました。母もこれまで原之町の定子さんなど何度か出かけていたことを思い出したからです。

高校の玄関に入ると、ちょうど校長の赤松先生がおられ、「お母さん、すみませんねえ、エレベーターがなくて……」と声をかけてくださいました。スリッパに履き替えた母は階段を少し上ったところで、スリッパをぬぐと、階段に手をつきながら、どんだん上の方へと進みました。ハッピーカフェの会場は三階です。私も母の腕を持ちながら一緒に上りましたが、母の階段を上るスピードが速いのにはびっくりしました。

会場にはすでに何人ものお客さんの姿がありました。少し別室で待った後、学校評議員のみなさんに続いて「喫茶店」に入ると、コーヒーのいい香りが漂っています。生徒たちに元気な声で「いらっしやいませ」と迎えてもらいました。とてもいい声です。

「喫茶店」では、母がりんごジュース、妻はコーヒー、そして私はカプチーノを注文しました。待っている間に、赤松先生がまた声をかけてくださいました。先生も母が元気に階段を上るので驚かれたのでしようね。「お母さんはおいくつですか」という問いに、母は「九一歳です」と数え年で答えていました。

本格的なコーヒーを飲んだ妻は、「久しぶりにおいしいコーヒーを飲んだ」と言い、ジュースを一気に飲んだ母も満足した様子でした。デザートについてきた小浜屋の「かの子」という名の和菓子はこの日のために作られたものです。真ん中に梅の花をイメージしたもののがのっていて、これもおいしくいただきました。母は妻に教えてもらいながら、アンケートにしっかりと記入した文字で感想を書きました。「おいしかったです」と。

階段を下り、一階の廊下にあった各種競技大会の表彰状を見たとき、妻も私も同じことを考えていました。「この子かあ、さつき、うちのテーブルのところに飲み物を運んでくれたのは」と言うと、妻も「やっぱりね」と言いました。素敵な笑顔と動きで、私たちのテーブル周辺をやさしい、気持ちの良い空間にしていってくれた生徒は喫茶サービスの技能大会で二年連続で金賞を獲得していたのです。

吉川高等特別支援学校の「喫茶店」へ出かけたのはこれで五回目くらいです。でも母や妻と一緒に初めてで、思い出に残るものとなりました。家に帰って、玄関に置いた幸来花を見たとき、オレンジ色の花が朝の段階より増えているように見えました。

## 健康づくりはまず歩くことから始めよう

1月29日、市議会厚生常任委員会は松本市で視察しました。この日、松本市内の朝の気温はなんとマイナス9度、歩いている時の頬にあたる風が冷たく感じられました。

同市での視察目的は健康維持対策です。同市の菅谷昭市長はお医者さんであり、チェルノブイリで診療活動をされた経験もある人として全国的に有名な方です。

松本市は一昨年、健康寿命延伸都市宣言をしました。この日は担当課の林裕子さんなどから丁寧に取り組みを説明していただきました。林さんによると、健康寿命については当初、松本市独自に算定方法やっていたが、国の方針に基づいて計算し直したといいます。介護保険のデータを使って算定したのだそうですが、平成22年平均寿命との差を少なくするのが目的で、10年計画を立てたそうです。計

画はメタボリックシンドロームとロコモティブシンドローム対策の2つの柱で出来ていて、行政だけでなく地域、団体と連携していくことを重視しているとのことでした。

計画はよく練られているなと思ったのですが、実践的にもかなり前に出ています。市内のすべてとなる35地区でウォーキングマップを作成しているのには驚きました。保健師さんは、「健康づくりはまず歩くことから」を強調されていました。



新春のつどいで朗読していただいた「かぜの でんわ」（金の星社）。感動の絵本でした。



### 上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月28日(水)	2月4日(水)
上越南消防署	0.040	0.043
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.050	0.043
頸南消防署	0.040	0.043
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.037	0.040
名立分遣所	0.053	0.050